

一四号

近畿大学 産業理工学部

かやのもり 14

KAYANOMORI
Faculty of Humanity-Oriented Science and Engineering
KINKI UNIVERSITY

縦組頁目次

- 一 特集―教育の現場から
国際インターンシップ2010―台湾―へ参加して
建築・デザイン学科 益田 信也
- 一〇 研究室だより
日本教育史研究室
経営ビジネス学科 教養・基礎教育部門 永添 祥多
- 一一 研究室だより
環境デザイン研究室
建築・デザイン学科 工藤 卓
- 一八 ちくほう地域研究
直方市の近代化遺産とその問題点
筑豊地域研究会会員 牛嶋 英俊
- 二四 書評
木下直之著『美術という見世物 油絵茶屋の時代』
講談社学術文庫 経営ビジネス学科 橋富 博喜



■横組目次 CONTENTS

■論文・作品 PAPERS and WORKS

- 01 苦味を呈する親水性無機塩に対する味センサ応答
Response of taste sensor to hydrophilic inorganic salts of bitter taste
飯山 悟、江崎 秀、都甲 潔
Satoru IYAMA, Shu EZAKI, Kiyoshi TOKO
- 05 Suppression of Telomerase Activity and Proliferation of Human Cancer Cells by anti-hTERT siRNAs and anti-hTR S-OligoDNA-Signal Peptide Conjugates
抗hTERT siRNA及び抗hTR S-オリゴDNA-シグナルペプチドコンジュゲートによるヒト癌細胞中でのテロメラーゼ活性と増殖の抑制
Masayuki FUJII and Irmina DIALA
- 22 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト支援による地域連携環境教育に関する取組
Environmental Education under the Partnership between University and Schools Supported by Science Partnership Project
菅野 憲一、河津 博文、加留部 盛雄、金子 洋一
Kenichi KANNO, Hirofumi KAWAZUMI, Morio KARUBE, Yoichi KANEKO
- 28 OFDMの伝送原理を理解するための教育用シミュレータ
Educational simulators for understanding OFDM principles
田中 宏典、岩崎 宣生、白土 浩、五反田 博
Hironori TANAKA, Nobuo IWASAKI, Hiroshi SHIRATSUCHI, Hiromu GOTANDA
- 37 正負交番繰返しの鉛直荷重と水平荷重を受けるRC門形架構における柱の軸方向変形と軸方向剛性
Axial Deformation and Axial Stiffness of Columns in RC Portal Frames Subjected to the Both Vertical Loads and Horizontal Loads of Alternately Cyclic Reversals
平松 晃
Akira HIRAMATSU
- 46 電磁調理器対応のセラミックス製調理容器
Ceramic Cooking Utensils for Baking by Induction Heating Cooker
松本 誠一、富迫 文夫
Seiichi MATSUMOTO, Fumio TOMISAKO
- 52 デザインすることの曖昧さについて
Study on vagueness in design
金子 哲大
Tetsuo KANEKO
- 58 マルチメディア教材によるeラーニングカリキュラム構築と改善システムの開発
ーコンテンツ作成と評価実験ー
Development of e-learning curriculum and improvement system by multimedia education contents
-Content preparation and evaluation
楠林 拓
Hiraku KUSUBAYASHI

- 64 Record of the second and third interdisciplinary seminars
K.TAKAHASHI, G.HIRANO, T.KAIDA, S.KANEMITSU, H.TSUKADA and T.MATSUZAKI
- 73 破産管財人と源泉徴収制度
Bankruptcy Administrators and Withholding Tax System
中牟田 智朗
Tomoaki NAKAMUTA
- 81 ■リサーチ Researches 2010(01-12)
- 96 ■平成22年度卒業研究一覧
- 107 ■平成22年度産業技術研究科学位論文一覧

縦組頁目次

一 特集一 教育の現場から

国際インターンシップ2010 ―台湾―へ参加して

建築・デザイン学科

益田 信也

一〇 研究室だより

日本教育史研究室

経営ビジネス学科 教養・基礎教育部門

永添 祥多

一一 研究室だより

環境デザイン研究室

建築・デザイン学科

工藤 卓

一八 ちくほう地域研究

直方市の近代化遺産とその問題点

筑豊地域研究会会員

牛嶋 英俊

二四 書評

木下直之著『美術という見世物 油絵茶屋の時代』講談社学術文庫

経営ビジネス学科

橋富 博喜

― 編集後記 ―

このたびの東日本大震災・原発事故による被災者の皆様に、心からのお見舞いと哀悼の意を表します。

報道によれば、発生から三ヶ月たった今も、八千人以上の行方がわからず、避難生活者は九万人を超えているとのことだ。

過去の三陸沖津波の巨大な被害を教訓としたはずの環境整備も、その極限の厳しさを想像する力の限界があらわれてしまったようです。原発も、過去の歴史的な自然の猛威を想定しないで設計した想像力の欠如が事故を招いてしまいました。

この未曾有の災害を記憶に刻み、美しい自然と共生してこの危機を乗り越えるための大きな想像力を、わたしたちはいつまでも持ち続けなければならないとおもいます。

さて、「かやのもり14」をお届けいたします。

縦組頁は13号に引き続いて、特集「教育の現場から」を企画しています。「国際インターンシップ2010―台湾―へ参加して」を建築・デザイン学科の益田信也先生に執筆いただきました。国際インターンシップは、平成十七年から近畿大学産業理工学部と台湾の国立虎尾科技大学との学術交流協定の一環として始まっています。今回は五回目となるインターンシップの訪問記です。

「ちくほう地域研究」は、筑豊地域研究会の牛嶋英俊氏に、「直方市の近代化遺産とその問題点」を長編で執筆いただいています。折しも、五月二十五日、筑豊地域の炭鉱で働いた山本作兵衛さんが描いた「筑豊炭鉱画」がユネスコの世界記憶遺産に登録されました。筑豊の近代化遺産の記憶を再評価して世界に発信した快挙です。

「書評」は、「かやのもり」編集顧問の橋富博喜先生が、幕末・明治の美術を見直す、木下直之著『美術という見世物 油絵茶屋の時代』を紹介いただきました。本書も歴史的美術の再評価でしょうか。

「研究室だより」は、この四月に本学に着任された経営ビジネス学科教養・基礎教育部門の永添祥多先生の「日本教育史研究室」の紹介と、建築・デザイン学科「環境デザイン研究室」の卒業設計作品を紹介しています。

横組頁の研究報告には、論文が八編、作品が一編、研究報告一編と、たいへん多くの研究成果報告を掲載できました。

他に春期号特集として、「Researches 2010 近畿大学産業理工学部教員活動記録二〇一〇年一月―十二月」「平成二十二年卒業研究一覽」「平成二十二年産業技術研究科学位論文一覽」を収録しています。

なお、表紙写真は、編集子が取材した生物環境化学科の一年次生の実験教育現場とその周辺を、スイングパノラマ撮影で構成したものです。（工藤記）

編集委員長

工藤 卓
(建築・デザイン学科)

編集委員

藤井 政幸
(生物環境化学科)

江崎 秀
(電気通信工学科)

工藤 卓
(建築・デザイン学科)

高橋 圭一
(情報工学科)

青井 格
(経営ビジネス学科)

編集顧問

橋富 博喜
(経営ビジネス学科)

近畿大学産業理工学部

かやのもり・研究報告 第十四号

平成23年7月20日

編集 近畿大学産業理工学部
かやのもり・研究報告

論文編集委員会

発行 近畿大学産業理工学部

〒820-8555 飯塚市柏の森11-6

PHONE (0948) 22-5655

FAX (0948) 23-0536

印刷所 有限会社ワイエス企画

〒820-0011 飯塚市柏の森108-7

■論文・作品 PAPERS and WORKS

■横組目次 CONTENTS

■論文・作品 PAPERS and WORKS

- 01 苦味を呈する親水性無機塩に対する味センサ応答
Response of taste sensor to hydrophilic inorganic salts of bitter taste
飯山 悟、江崎 秀、都甲 潔
Satoru IYAMA, Shu EZAKI, Kiyoshi TOKO
- 05 Suppression of Telomerase Activity and Proliferation of Human Cancer Cells by anti-hTERT siRNAs and anti-hTR S-OligoDNA-Signal Peptide Conjugates
抗 hTERT siRNA 及び抗 hTR S- オリゴ DNA- シグナルペプチドコンジュゲートによるヒト癌細胞中でのテロメラーゼ活性と増殖の抑制
Masayuki FUJII and Irmina DIALA
- 22 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト支援による地域連携環境教育に関する取組
Environmental Education under the Partnership between University and Schools Supported by Science Partnership Project
菅野 憲一、河清 博文、加留部 盛雄、金子 洋一
Kenichi KANNO, Hirofumi KAWAZUMI, Morio KARUBE, Yoichi KANEKO
- 28 OFDM の伝送原理を理解するための教育用シミュレータ
Educational simulators for understanding OFDM principles
田中 宏典、岩崎 宣生、白土 浩、五反田 博
Hironori TANAKA, Nobuo IWASAKI, Hiroshi SHIRATSUCHI, Hiromu GOTANDA
- 37 正負交番繰返しの鉛直荷重と水平荷重を受ける RC 門形架構における柱の軸方向変形と軸方向剛性
Axial Deformation and Axial Stiffness of Columns in RC Portal Frames Subjected to the Both Vertical Loads and Horizontal Loads of Alternately Cyclic Reversals
平松 晃
Akira HIRAMATSU
- 46 電磁調理器対応のセラミックス製調理容器
Ceramic Cooking Utensils for Baking by Induction Heating Cooker
松本 誠一、富迫 文夫
Seiichi MATSUMOTO, Fumio TOMISAKO
- 52 デザインすることの曖昧さについて
Study on vagueness in design
金子 哲大
Tetsuo KANEKO
- 58 マルチメディア教材による e ラーニングカリキュラム構築と改善システムの開発
-コンテンツ作成と評価実験-
Development of e-learning curriculum and improvement system by multimedia education contents
-Content preparation and evaluation
楠林 拓
Hiraku KUSUBAYASHI
- 64 Record of the second and third interdisciplinary seminars
K.Takahashi, G.Hirano, T.Kaida, S.Kanemitsu, H.Tsukada and T.Matsuzaki
- 73 破産管財人と源泉徴収制度
Bankruptcy Administrators and Withholding Tax System
中牟田 智朗
Tomoaki NAKAMUTA
- 81 ■リサーチ Researches 2010(01-12)
- 96 ■平成 22 年度卒業研究一覧
- 107 ■平成 22 年度産業技術研究科学学位論文一覧



Researches 2010(01-12)

近畿大学産業理工学部教員活動記録

2010年1月-12月

生物環境化学科

飯山 悟

■学会発表

1. 飯山悟、江崎秀、八尋美希、都甲潔：
親水性無機塩の苦味機構、日本調理科学会平成22年度大会（福岡）、平成22年8月27日
2. 飯山悟、江崎秀、八尋美希、都甲潔：
エタノールに対する味センサ応答の解析、2010年度第57回日本家政学会九州支部大会（沖縄）平成22年9月25日
3. 八尋美希、飯山悟、江崎秀、都甲潔：
食品あるいは食品成分による苦味マスキングの研究、2010年度第57回日本家政学会九州支部大会（沖縄）平成22年9月25日

■国際学会

1. S. Ezaki, M. Yahiro, S. Iiyama:
Analysis of taste qualities and ingredients of extract from polished rice using taste sensor, Pacificchem 2010, Honolulu, Hawaii, USA, 16, Dec, 2010.

荒川 剛

■論文

1. T.Arakawa, H.Yasukawa and K.Fujimoto:
Detection of alcohol vapor using surface Plasmon resonance sensor with organic-inorganic hybrid layers, *Sens. and Mater.*, 22, 201-209(2010).

■学会発表

1. 小西優也、蛸島照一郎、荒川剛：
希土類元素-SDBS-タンパク質系の蛍光特性(3)、第27回希土類討論会（2010年5月27日、北九州市、北九州国際会議場）
2. 岡本良太、村上泰次郎、川端秀夫、荒川剛：
Pd-Niナノ粒子の調製と水素吸着特性、2010 日本化学会西日本大会（2010年11月6日、熊本市、熊本大学）

■国際学会

1. T.Arakawa, T.Morimoto：
Observation of Eu^{2+} under ion exchange reaction of

sodium beta alumina with molten Eu^{3+} salts in an inert gas atmosphere, 3rd International Workshop on Photoluminescence in Rare Earths, Florence, Italy, 28 April, 2010.

2. Y.Konishi, S.Takoshima, T.Arakawa：
Photoluminescence of rare earth-protein-surface-active agents system and its application for the determination of protein, 3rd International Workshop on Photoluminescence in Rare Earths, Florence, Italy, 28 April, 2010.
3. N.Shibata, M.Toya, T.Arakawa：
Detection of some volatile organic compounds by means of surface resonance sensor with organic-inorganic hybrid layers, 7th Asian Conference on Electrochemistry in Kumamoto, Kumamoto, 19 May, 2010.
4. K.Tajima, T.Arakawa：
THz Spectroscopy of perovskite oxides as solid state chemical sensors, 3rd International Congress on Ceramics, Osaka, 16 November, 2010.
5. S.Kanamori, N.Akaji, T.Arakawa：
Intercalation of Pharmaceutically Active Compound into Layered Double Hydroxides, 3rd International Congress on Ceramics, Osaka, 16 November, 2010.

■特許

1. 特開2010-286326 タンパク質の検出・定量方法及びタンパク質の検出・定量用試薬キット(2010.12.24)

西田 哲明

■著書

1. 原一広、西田哲明：
「重金属吸着ゲルによる廃液からの資源回収」、工業排水・廃材からの資源回収技術（シーエムシー出版）、pp. 79-88（2010）

■学術論文

1. S. Kubuki, Y. Tomota, R. Yoshimura, Z. Homonnay, K. Sinkó, E. Kuzmann and T. Nishida：
Electrical conductivity and local structure of iron-containing lithium barium vanadate glass, *J. Phys. Conf. Ser.*, 217, 012026, pp. 1-4 (2010)
2. S. Kubuki, H. Uehara, K. Akagi, A. Mikuni, N. Isobe：
Z. Homonnay, K. Sinkó, E. Kuzmann and T. Nishida,
Mechanical strength and local structure of 'new' Hagi porcelain investigated by ^{57}Fe -Mössbauer spectroscopy.

J. Phys. Conf. Ser., 217, 012067, pp. 1-4 (2010).

3. S. Kubuki, R. Yoshimura, H. Matsutomi, Z. Homonnay, E. Kuzmann and T. Nishida :
Electrical Conductivity and Local Structure of Lithium Substituted NTA glass™ after annealing, *Proc. Spec. Res. Meet. New Develop. Solid State Phys.*, pp. 1-4 (2010).
4. K. Hara, S. Yoshioka and T. Nishida :
A Possibility of Heavy-Metal Recycling by Utilizing Hydrogels, *Trans. Mater. Res. Soc. Jpn.*, 35, No.3, pp. 449-454 (2010)
5. 西田哲明 :
理科教育とモノづくりー教育と研究のマッチングー,
近畿大学産業理工学部研究報告, 13, 7-12 (2010)
6. 原一広、西田哲明 :
「ハイドロゲルによる重金属リサイクルの新たな試み」、
化学装置 (工業調査会)、52, No.4, pp. 72-76 (2010)

■ 特許

1. 西田哲明、原一広 :
「有害陰イオン吸着有機高分子ゲル」、特許第4441625号 (2010年1月)
2. 西田哲明 :
「混合伝導性を有する導電性ガラス及びその製造方法」、
特許第4461238号 (2010年2月)
3. 西田哲明 :
「導電性バナジウム酸塩ガラス及びその製造方法」、特許第4482672号 (2010年4月)
4. 西田哲明 :
「セラミック中空ボール及びその製造方法」、特許第4517140号 (2010年5月)
5. 西田哲明、小林賢一、森重明 :
「プラズマ発生用電極の製造方法」、特許第4517150号 (2010年5月)
6. 西田哲明、小林賢一、森重明 :
「誘電体材料の加工方法」、特許第4565235号 (2010年8月)
7. T. Nishida *et al.* :
“Mold, Method of Producing the Mold, and Method of Producing Molded Article Using the Mold”, *US Patent No. 7,811,501* (2010).
8. 西田哲明、和田耕一 :
「生物由来の石灰質物質からのタンパク質の除去方法および該方法により得られる固体状の炭酸カルシウムを含む樹脂組成物」(特願2010-053882) (2010年3月出願)
9. 西田哲明 :

「耐水性および化学耐久性に優れたバナジウム酸塩-リン酸塩ガラス」(特願2010-127393) (2010年6月出願)

■ 技術研究報告

1. 西田哲明 :
リチウムイオン電池新規正極材料のメスバウアー研究、
京都大学原子炉実験所専門研究会報告CD-R (2010)

■ 学会発表

1. T. Nishida:
Industrial Applications of the Mössbauer Spectroscopy -
New Electrically Conductive Oxide Glass Effective for
Lithium-Ion Battery and Nanotechnology -, *239th ACS
National Meeting and Exposition* (アメリカ化学会第239
回年会), March 21-25, 2010, San Francisco, CA (特別
講演)
2. S. Kubuki, T. Nishida, *et al.*:
Polluted Water Purifying Ability and Local Structure of
the Fe-Fe₃O₄ Mixture, *239th ACS National Meeting and
Exposition* (アメリカ化学会第239回年会), March 21-25,
2010, San Francisco, CA (招待講演)
3. 西田哲明 :
リチウムイオン電池正極材料, 自動車産業アライアンス
セミナー /E-zuka トライバレー産学官交流研究会 (飯塚)、
6月(依頼講演)

藤井 政幸

■ 学術論文

1. Masayuki Fujii and Irmina Diala :
Suppression of Telomerase Activity and Proliferation of
Cancer Cell Lines by siRNA Targeting hTERT mRNA,
Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids, 2010, 29, 542-
543.
2. Masayuki Fujii and Irmina Diala :
Highly Enhanced Silencing Effect by siRNA-Nuclear
Export Signal Peptide Conjugates, *Nucleosides,
Nucleotides and Nucleic Acids*, 2010, 29, 544-545.
3. Masayuki Fujii and Irmina Diala :
Synthesis of siRNA-Peptide Conjugates by Solid Phase
Fragment Condensation, *Nucleosides, Nucleotides and
Nucleic Acids*, 2010, 29, 546-547.
4. Masayuki Fujii*, Irmina Diala, Kazuya Uenishi, Shu-ichi
Nakano and Naoki Sugimoto :
Specific Suppression of bcr/abl mRNA by Chemically
Modified siRNAs Targeting b3a2 Transcripts,

Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids, 2010, 29, 548-549.

■学会発表

1. 藤井政幸 :
化学修飾siRNAによるbcr/abl遺伝子サイレンシング、第90回日本化学会春季年会、東大阪、平成22年3月26-29日。
2. 赤城雄一、利光貴紀、松本一真、藤井政幸 :
酵素的固相ペプチド合成法の開発 (1) リパーゼによる固相担体からの切り出し、第47回化学関連支部合同九州大会、北九州、平成22年7月10日
3. 西條清伸、赤城雄一、中野健一、藤井政幸 :
酵素的固相ペプチド合成法の開発 (2) イオン性液体中でのリパーゼによる固相担体からの切り出し、第47回化学関連支部合同九州大会、北九州、平成22年7月10日
4. 三浦航、赤城雄一、片岡翔太、寺田佳毅、藤井政幸 :
酵素的固相ペプチド合成法の開発 (3) リパーゼによる固相担体からの切り出しにおけるマイクロ波照射の効果、第47回化学関連支部合同九州大会、北九州、平成22年7月10日
5. 赤城雄一、Irminda Diala、藤井政幸 :
siRNA-NESペプチドコンジュゲートの合成、デリバリー、サイレンシング効果、第20回アンチセンスシンポジウム、神戸、平成22年12月2-3日

■国際学会

1. Masayuki Fujii and Irminda Diala :
SYNTHESIS OF siRNA-PEPTIDE CONJUGATES BY SOLID PHASE FRAGMENT CONDENSATION, XIX International Round Table "Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids" Lyon, France, August 29-September 3, 2010.
2. Masayuki Fujii and Irminda Diala :
HIGHLY ENHANCED SILENCING EFFECT BY siRNA-NUCLEAR EXPORT SIGNAL PEPTIDE CONJUGATES, XIX International Round Table "Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids" Lyon, France, August 29-September 3, 2010.
3. Masayuki Fujii and Irminda Diala :
SUPPRESSION OF TELOMERASE ACTIVITY AND PROLIFERATION OF CANCER CELL LINES BY siRNA TARGETING hTERT mRNA, XIX International Round Table "Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids" Lyon, France, August 29-September 3, 2010.
4. Masayuki Fujii, Irminda Diala, Kazuya Uenishi, Shu-

ichi Nakano and Naoki Sugimoto :
SPECIFIC SUPPRESSION OF BCR-ABL mRNA BY CHEMICALLY MODIFIED siRNAs TARGETING b3a2 TRANSCRIPTS, XIX International Round Table "Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids" Lyon, France, August 29-September 3, 2010.

5. Irminda Diala and Masayuki Fujii :
SYNTHESIS AND HIGHLY ENHANCED SILENCING EFFECT OF siRNA-NES PEPTIDE CONJUGATES, The 6th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutic Society, Dana Point, California, USA, October 20-23, 2010.
6. Masayuki Fujii and Irminda Diala :
Synthesis and highly enhanced silencing effect of siRNA-NES conjugates, The 37th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry 2010, Yokohama, Japan, November 10-12, 2010.
7. Masayuki Fujii :
Synthesis of and gene silencing by oligonucleotide-peptide conjugates, The 5th International Peptide Symposium, Kyoto, Japan, December 4-9 2010.
8. Yuichi Akagi and Masayuki Fujii :
Highly Enhanced Silencing of bcr/abl Gene by siRNA-NES Peptide Conjugates, The 5th International Peptide Symposium, Kyoto, Japan, December 4-9 2010.
9. Masayuki Fujii, Hirotsuke Aoshima, Yuichi Akagi and Irminda Diala :
Synthesis of Oligonucleotide-Peptide Conjugates by Solid Phase Fragment Condensation, The 5th International Peptide Symposium, Kyoto, Japan, December 4-9 2010.
10. Masayuki Fujii and Irminda Diala :
Controlled Intracellular Delivery and Antisense Inhibition of DNA-Peptide Conjugates, The 5th International Peptide Symposium, Kyoto, Japan, December 4-9 2010.
11. Masayuki Fujii and Irminda Diala :
Specific Inhibition of Human Telomerase Activity by siRNA and Phosphorothioate Oligonucleotide-Peptide Conjugates, The 5th International Peptide Symposium, Kyoto, Japan, December 4-9 2010.

■特別講演

1. 藤井政幸 :
DNA/RNA- ペプチドコンジュゲートによる細胞内局在化制御と遺伝子サイレンシング、産業技術総合研究所

生物情報解析センターマリーナフロントセミナー特別講演、平成22年9月14日

2. 藤井政幸 :

核酸とペプチドの機能融合による細胞内局在化制御と遺伝子サイレンシング、武田薬品工業化学研究所新規医薬探索セミナー特別講演、平成22年10月18日

■ 出前講義

1. 藤井政幸 :

平成22年7月1日 鹿児島県立錦江湾高等学校模擬講義「ヒトゲノムと21世紀の遺伝子技術」

2. 藤井政幸 :

平成22年7月13日 福岡県立ひびき高等学校「近未来ガイドダンス」、「ヒトゲノムと21世紀の遺伝子技術」

3. 藤井政幸 :

平成22年8月22日 近畿大学本部オープンキャンパス模擬講義、「21世紀の夢の新薬” 遺伝子薬” の開発」～がんやエイズを薬で治す～

4. 藤井政幸 :

平成22年10月28日 山口県立厚狭高等学校出前講義「ヒトゲノムと21世紀の遺伝子技術」

■ 特許

1. 藤井政幸 :

発明の名称：細胞への核酸導入方法、核酸キャリアおよび核酸複合体

出願番号：特願2010-157367

出願日：2010年7月10日

発明者：藤井政幸

出願人：(財)北九州産業学術推進機構

田中 賢二

■学会発表

1. 佐田 隆宏、森下 由唯、水野 康平、安東 晶子、土谷直史、青柳 貴裕、田中 賢二 :

排水処理汚泥における硫化水素発生とその影響因子の細菌叢解析による研究、日本農芸化学会2010年度大会講演要旨集、p251、2010年3月27日～30日、東京大学

2. 平田 舞、宮脇賢大、田中賢二 :

aracoccus denitrificansのCO₂とH₂を基質とする菌体増殖と物質生産。第47回化学関連支部合同九州大会講演予稿集、2010年7月10日、北九州市(北九州国際会議場)

3. 宮脇賢大、平田 舞、松崎 夕美、松崎 弘美、田中賢二 :

CO₂から共重合ポリエステルを合成するための *Ralstonia eutropha* の組換え株の作成と独立栄養条件下での増殖、第47回化学関連支部合同九州大会講演予稿集、2010年7月10日、北九州市(北九州国際会議場)

4. 相馬さやか、後藤進介、中村誠、田中賢二 :

たらこにおける細菌の亜硝酸根生成とその抑制に関する研究、日本食品科学工学会講演要旨集P115、2010年9月2日、東京農業大学(東京)

5. 外村 彩夏、松崎 夕美、田中 賢二、柘植 丈治、松崎弘美 :

組換え *Ralstonia eutropha* による糖および炭酸ガスからの共重合ポリエステルの生合成、日本生物工学会大会講演要旨集、2010年10月28日、ワールドコンベンションセンターサミット(宮崎市)

■その他

1. LED等を用いた光照射技術の活用による動物性餌料生物の省エネルギー生産技術の開発、農林水産技術会議委託プロジェクト研究、生物の光応答メカニズムの解明と省エネルギー、コスト削減利用技術の開発

「有用水産生物の光応答メカニズムの解明及び高度利用技術の開発」、平成22年度中間研究推進会議、山会堂(東京)、2010年11月26日

2. 高校理科生物部会講演、有用・有害微生物の探索とその実際 ～遺伝子解析の利用も含めて～、2010年3月13日、近畿大学産業理工学部(飯塚市)

3. 出前講義、微生物は小さな巨人、2010年9月1日、大分県立別府鶴見丘高校(大分県別府市)

4. 研究展示、理系高校生のための研究展示、「将来のジブンを考える」、西日本総合展示場(北九州市・小倉)、2010年11月6日

菅野 憲一

■学術論文

1. Kenichi Kanno, Akimitsu Kugimiya, Yasumasa Matsumoto, Yuya Konishi, Tsuyoshi Arakawa, Yuichiro Takaki, Yuya Yoshida, Keiichiro Hanada, Kotaro Matsumura, Takeshi Endo :

p-PHENYLENEDIAMINE EPOXY RESIN FILM FOR REDOX ENZYME DETECTION, Macromolecular Symposia, 2010, 297, 108-113.

2. 菅野憲一 :

生物多様性と化学実験、化学と教育、受理

■国際学会

1. Kenichi Kanno, Akimitsu Kugimiya, Yasumasa Matsumoto, Takeshi Endo :
p-PHENYLENEDIAMINE EPOXY RESIN FILM FOR REDOX ENZYME DETECTION, Macro2010, Glasgow, United Kingdom, 14, July, 2010.

■学会発表

1. 菅野憲一、松本泰昌、遠藤剛：
フェニレンジアミンフィルムによる酸化還元酵素反応の検出、日本化学会、平成22年3月27日、近畿大学、大阪
2. 菅野憲一：
生物多様性条約事務局小冊子のリメディアル教育への活用、日本環境教育学会年会、平成22年5月22-23日、ているる、沖縄
3. 菅野憲一：
技術者教育におけるエネルギー・環境教育、平成22年7月31日-8月1日、日本エネルギー環境教育学会年会、長崎大学、長崎
4. 菅野憲一：
生物多様性と科学技術の接点を学ぶサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトへの取組、平成22年8月8日、福岡県環境教育学会年会、九州女子大学、北九州
5. 松本泰昌、菅野憲一、北山諒：
フェニレンジアミンフィルムによる酸化還元酵素反応の検出、農芸化学会西日本支部大会、9月18日、崇城大学、熊本
6. 北山諒、菅野憲一、松本泰昌：
酸化還元酵素のためのフェニレンジアミン系高分子修飾電極、農芸化学会西日本支部大会、9月18日、崇城大学、熊本

森田資隆

■学会発表

1. 竹入裕、森敬之、森田資隆：
新規鉄還元菌の探索と還元特性に関する研究、第9回近畿大学環境科学研究会、平成22年8月8日-9日、近畿大学薬学部（大阪府東大阪市）
2. 檜谷孝、長田真裕、森田資隆：
低温菌BS-c株が産生する新規低温活性リパーゼの特性評価、第9回近畿大学環境科学研究会、平成22年8月8日-9日、近畿大学薬学部（大阪府東大阪市）
3. 穴井順也、竹入裕、森田資隆：

新規な低温性鉄還元菌の探索とその温度特性に関する評価、第47回化学関連支部合同九州大会、平成22年7月10日、北九州国際会議場（福岡県北九州市）

4. 水之江庄士郎、檜谷孝、森田資隆：
ケラチン分解菌が産生する低温活性酵素の探索とその特性評価、第47回化学関連支部合同九州大会、平成22年7月10日、北九州国際会議場（福岡県北九州市）
5. 田端克哉、松山裕子、森田資隆：
ケラチン分解菌が産生する2つの酵素によるケラチンの協同的な分解、第47回化学関連支部合同九州大会、平成22年7月10日、北九州国際会議場（福岡県北九州市）

■書評

1. 森田資隆：
一書評一、小安重夫著『免疫学はやっぴりおもしろい』、近畿大学産業理工学部研究報告、第12号、27-29（2010年7月）
2. 森田資隆：
一書評一、石浦章一著『遺伝子が処方する脳と身体のビタミン』、近畿大学産業理工学部研究報告、第13号、13-14（2010年12月）

■新聞記事

1. 森田資隆：
『理科って面白いよ』、西日本新聞朝刊、平成22年7月31日

電気通信工学科

園田 敏勝

■国際会議

1. Yuuki Yasumura, Tatsunori Munesada, Fuminori Yamamitsu, Toshikatsu Sonoda:
Voltage Control of a Self-Excited Induction Generator Using a Three-phase Variable Reactor, 16th Int. Conf. on Elec. Engi. Busan Korea, Conf. Rec., PGTM-02, July 11-14, 2010
2. Fuminori Yamamitsu, Tetsuya Yamamoto, Toshikatsu Sonoda:
Receiving End Voltage Control with a Variable Reactor, 16th Int. Conf. on Elec. Engi. Busan Korea, Conf. Rec., PS-PSS-01, July 11-14, 2010
3. Tatsunori Munesada, Yoshiaki Takasaki, Toshikatsu

Sonoda:

Spot Welding Current Control with a Frequency-Controlled Inverter Power Supply, 16th Int. Conf. on Elec. Engi. Busan Korea, Conf. Rec., CIT-01, July 11-14, 2010

4. Tetsuya Yamamoto, Ryouyusuke Sasaki, Fuminori Yamamitsu, Toshikatsu Sonoda:
On A Relation Between Winding Method and Detection Sensitivity for DC Bias Differential Magnetic Field Sensor, 16th Int. Conf. on Elec. Engi. Busan Korea, Conf. Rec., PS-ORA-04, July 11-14, 2010

■ 紀要

1. 園田敏勝、久良修郭、原谷直実、平野剛、松崎隆哲:
モータ制御をベースとしたエネルギー・情報・制御教育教材の開発、近畿大学産業理工学部研究報告 13号、pp.13-18、2010年12月10日

■ 国内学会

1. 宗貞辰徳、高崎佳明、園田敏勝:
スポット溶接電流制御用電流センサの構成、電気学会マグネティックス研究会、MAG-10-127、2010.10.1、福岡
2. 萩原慶一、園田敏勝:
小型電動機用負荷装置の構成、電気学会マグネティックス研究会、MAG-10-128、2010.10.1、福岡
3. 唐原宏行、園田敏勝:
電源電圧フリー DC ブラシレスモータの速度制御法、電気学会マグネティックス研究会、MAG-10-129、2010. 10. 1、福岡
4. 山光史哲、安村祐輝、吉川知輝、山本哲也、園田敏勝:
可変リアクトルを用いた自立型誘導発電機の電圧制御、電気学会マグネティックス研究会、MAG-10-130、2010.10.1、福岡
5. 園田敏勝:
マグネへの出会いと研究活動、電気学会マグネティックス研究会、MAG-10-131、2010.10.1、福岡
6. 安村祐輝、宗貞辰徳、山光史哲、園田敏勝:
磁束制御形三相可変リアクトルを用いた自励式誘導発電機の電圧制御、電気学会マグネティックス研究会、MAG-10-140、2010.11.1、剛羅
7. 山本哲也、山光史哲、安村祐輝、園田敏勝:
三相磁束制御形可変リアクトルの動作、半導体電力変換、リニアドライブ、モータドライブ合同研究会、SPC-10-192、LD-10-090MD-10-068、2010.12.17、大阪

8. 萩原慶一、園田敏勝:
小型電動機用負荷装置と粘性制動係数、半導体電力変換、リニアドライブ、モータドライブ合同研究会、SPC-10-198、LD-10-096、MD-10-074、2010.12.17、大阪
9. 宗貞辰徳、高崎佳明、園田敏勝:
スポット溶接用RI 降下型電流センサ、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会、01-1P-10、福岡 (2010.9.25)
10. 山光史哲、吉川知輝、安村祐輝、園田敏勝:
自立型誘導発電機の電圧制御、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会、04-2P-01、福岡 (010.9.26)
11. 萩原慶一、園田敏勝:
小型回転機用負荷装置の構成、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会、07-2P-05、福岡 (010.9.26)
12. 唐原宏行、園田敏勝:
電源電圧フリー DC ブラシレスモータ速度制御法の提案、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会、07-2P-07、福岡 (010.9.26)
13. 安村祐輝、宗貞辰徳、山光史哲、園田敏勝:
磁束制御形三相可変リアクトルの動作、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会、13-2P-01、福岡 (010.9.26)
14. 山本哲也、石橋一樹、山光史哲、園田敏勝:
鉄心磁束制御形可変リアクトルの構成について、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会、13-2P-02、福岡(010.9.26)
15. 吉川知輝、山光史哲、安村祐輝、園田敏勝:
誘導発電機の高効率運転に対する一検討、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会、13-2P-03、福岡 (010.9.26)

江崎 秀

■ 国際会議

1. Shu Ezaki, Miki Yahiro, Satoru Iiyama:
Analysis of taste qualities and ingredients of extract from polished rice using taste sensor, 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (PACIFICHEM 2010), Honolulu, USA, December 16, 2010

■ 国内学会

1. 江崎 秀、久良 修郭:
家庭用合弁浄化槽の簡易故障解析システム、平成22年度 (第63回) 電気関係学会九州支部連合大会 (福岡)、

2010年9月

2. 飯山 悟、江崎 秀：
エタノールに対する味センサ応答、日本家政学会九州支部第57回大会（沖縄）、2010年9月
3. 飯山 悟、江崎 秀：
親水性無機塩の苦味機構、平成22年度日本調理科学会九州支部大会（福岡）、2010年8月

伊集院 八郎

■論文

1. 伊集院八郎：
表計算ソフト上での複素数とベクトルの処理、応用物理教育、第34巻、第2号、pp.3-8、2010年12月
2. 伊集院八郎：
表計算ソフト上での複素行列の処理、応用物理教育、第34巻、第2号、pp.9-14、2010年12月

■国内学会

1. 伊集院八郎：
表計算ソフト上での複素行列応用のためのプログラミング、情報処理学会夏のプログラミング・シンポジウム2010(長野)、2010.9.1
2. 伊集院八郎：
表計算ソフト上での動きの実現、第57回応用物理学関係連合講演会（神奈川）、東海大、2010.3.18
3. 伊集院八郎、城歩：
表計算ソフト上での数式描画、第71回応用物理学学会学術講演会、長崎大、2010.9.15
4. 城歩、伊集院八郎：
表計算ソフト上での回路解析、第18回電子情報通信学会九州支部学生講演会、福岡工大、2010.9.24
5. 伊集院八郎：
表計算ソフト上での量子計算、第63回電気関係学会九州支部連合大会、九産大、2010.9.26

平野 剛

■論文

1. Takeshi Koya, Nobuo Iwasaki, Takaaki Ishibashi, Go Hirano, Hiroshi Shiratsuchi, and Hiromu Gotanda:
SN ratio estimation and speech segment detection of extracted signals through Independent Component Analysis, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics, Vol.14, No.4 pp.364-374, 2010

■紀要

1. 平野 剛、大八木文洋：
ロボットコンテストを活用した工学教育、近畿大学産業理工学部研究報告12号、pp.7-12、2010

■国際会議

1. Seiji Furuno, Minoru Kobayashi, Kouhei Yanagi and Go Hirano:
Trajectory Tracking Control of Mobile Robot Moving along Curved Wall Using Imaginary Wall, Proceedings of the Fifteenth International Symposium on Artificial Life and Robotics, Oita, 4-6 February, 2010
2. Seiji FURUNO, Minoru KOBAYASHI and Go HIRANO:
Trajectory Tracking Control of Mobile Robot Moving along Wall using Single Laser Range Finder, Proceedings of the 29th IASTED International Conference on Modelling, Identification and Control, Innsbruck, Austria, 15-17 February, 2010
3. Go HIRANO and Seiji FURUNO:
Development of Rescue Robot with Expandable side crawler, Proceedings of the IASTED International Conference of Robotics, Phuket, Thailand, 24-26 November, 2010

■国内学会

1. 古野誠治、中井瑞貴、平野 剛：
狭隘環境内で作業可能な伸縮駆動機構を有するレスキューロボットの開発、日本機械学会第63期総会・講演会論文集、pp.153-154、熊本、平成22年3月15日
2. 古野誠治、平野 剛：
サイドクローラ伸縮機構を有するレスキューロボットの開発、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会論文集、旭川、平成22年6月15日

松崎 隆哲

■国際会議

1. Takanori Matsuzaki, Nozomu Urashima, Makoto Amamiya:
Thread Control Mechanism for Multithreading Processor, Proceedings of The 2010 International Conference on Computer Design (CDES'10), pp.81-87, LasVegas, Nevada, USA, 12-15 July 2010

■国内学会

1. 高橋健一、松崎隆哲、峯恒憲、櫻井幸一：
ルールレポジトリを用いたユーザがカスタマイズ可能なデータ保護方法の提案、Computer Security Symposium 2010、pp.149-154、2010年10月19日

建築・デザイン学科

依田 浩敏

■著書（分担執筆）

1. 尾島俊雄監修、長瀬龍彦ほか14名編集、依田浩敏ほか92名執筆：
都市環境エネルギー用語辞典、社団法人都市環境エネルギー協会、CD-ROM、平成22年10月

■学術論文

1. 田中憲一、萩島理、北山広樹、依田浩敏：
保水性被覆材による福岡市役所前広場の熱環境改善効果に関する現地実証試験、日本建築学会技術報告集、第34号、pp.1019~1022、平成22年10月
2. 齋藤健二、依田浩敏：
反射板方式太陽光追尾型発電装置に関する調査研究～日射量予測と発電実績について～、近畿大学産業理工学部かやのもり・研究報告、第13号、pp.27~34、平成22年7月

■執筆

1. 依田浩敏：
都市環境の研究・調査、近畿大学産業理工学部かやのもり・研究報告、第12号、p.1、平成22年7月

■国際会議

1. D. Yoshikai, H. Yoda：
Comparison of Consciousness of Foreigner and Japanese Consumer to the Green Products, Asia Institute of Urban Environment, Proceedings of SUDAC2010, International Conference on Sustainable Urban Design in Asia City, pp.47-52, Sendai(Japan), 19-21 Nov., 2010
2. H. Yoda：
Field Demonstration on Thermal Environment Improvement using Water Retentive Materials, Asia Institute of Urban Environment, Proceedings of SUDAC2010, International Conference on Sustainable Urban Design in Asia City, pp.277-282, Sendai(Japan), 19-

21 Nov., 2010

3. H. Kawabe, H. Yoda：
Investigation of the Timber Circulation and Design of a Temporary Wooden Building, Asia Institute of Urban Environment, Proceedings of SUDAC2010, International Conference on Sustainable Urban Design in Asia City, pp.300-305, Sendai(Japan), 19-21 Nov., 2010
4. Y. Kurauchi, H. Yoda：
Study on the Photovoltaic Generation System Suitable for Sun Direction Installed Reflector, Asia Institute of Urban Environment, Proceedings of SUDAC2010, International Conference on Sustainable Urban Design in Asia City, pp.306-311, Sendai(Japan), 19-21 Nov., 2010

■国内学会

1. 河野慎平、小寺優貴、田中絵梨香、赤司泰義、渡辺俊行、依田浩敏、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎：
九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究（その6）平成21年度調査における建物概要と省エネルギー対策について、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.217~220、長崎、平成22年3月7日
2. 小寺優貴、田中絵梨香、河野慎平、赤司泰義、渡辺俊行、依田浩敏、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎：
九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究（その7）平成21年度調査におけるエネルギー・水消費量の実態について、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.221~224、長崎、平成22年3月7日
3. 田中絵梨香、河野慎平、小寺優貴、赤司泰義、渡辺俊行、依田浩敏、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、宮田征門：
九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究（その8）平成19~21年度の調査結果に基づくエネルギー・水消費量分析、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.225~228、長崎、平成22年3月7日
4. 瀬川喜章、依田浩敏、赤司泰義、渡辺俊行、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎：
九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究（その9）平成21年度調査における飯塚市の公共施設の実態について、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.229~232、長崎、平成22年3月7日
5. 佐藤康平、瀬戸口哲郎、玄姫、堤洋樹、高偉俊、葛隆生、赤司泰義、渡辺俊行、前田昌一郎、依田浩敏：

- 九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究（その10）北九州市の公共施設の電力消費量とCO2排出量の実態に関する研究、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.233～236、長崎、平成22年3月7日
6. 瀬戸口哲郎、佐藤康平、玄姫、堤洋樹、高偉俊、葛隆生、赤司泰義、渡辺俊行、前田昌一郎、依田浩敏：九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究（その11）北九州における教育施設のエネルギー消費量とCO2排出量の実態に関する研究、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.237～240、長崎、平成22年3月7日
7. 依田浩敏、宮田麻衣：九州・山口におけるエコリフォームに関する調査研究（その1）調査概要、工務店に対するアンケート調査、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.429～432、長崎、平成22年3月7日
8. 宮田麻衣、依田浩敏：九州・山口におけるエコリフォームに関する調査研究（その2）施主に対するアンケート調査、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.433～436、長崎、平成22年3月7日
9. 河邊拓紀、瀬川喜章、依田浩敏：添田町の地場木材を使用した環境配慮型仮設建築物の設計、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.437～440、長崎、平成22年3月7日
10. 吉開大祐、依田浩敏：環境関連技術の内部・外部価値の仮想評価スキームの開発（その3）環境配慮型製品に対する消費者意識に関する日本と中国の比較、日本建築学会研究報告九州支部、第49号・2環境系、pp.441～444、長崎、平成22年3月7日
11. 宮田麻衣、依田浩敏：九州・山口におけるエコリフォームに関する調査研究、空気調和・衛生工学会九州支部研究報告、第17号、pp.17～22、佐賀、平成22年5月29日
12. 依田浩敏、小寺優貴、田中絵梨香、河野慎平、瀬川喜章、玄姫、赤司泰義、渡辺俊行、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、宮田征門：九州地域における非住宅建築物の環境関連データベースの構築に関する研究 その4 平成19～21年度調査に基づくエネルギー・水消費量分析、空気調和・衛生工学会九州支部研究報告、第17号、pp.77～80、佐賀、平成22年5月29日
13. 河野慎平、赤司泰義、渡辺俊行、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、依田浩敏、村上周三、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、吉野博、浅野良晴、奥宮正哉、下田吉之、村川三郎：大学・研究機関におけるエネルギー・水消費量の実態、空気調和・衛生工学会九州支部研究報告、第17号、pp.81～84、佐賀、平成22年5月29日
14. 瀬川喜章、高永志、高偉俊、葛隆生、赤司泰義、渡辺俊行、前田昌一郎、依田浩敏、村上周三、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、吉野博、浅野良晴、奥宮正哉、下田吉之、村川三郎：スポーツ施設におけるエネルギー・水消費量の実態、空気調和・衛生工学会九州支部研究報告、第17号、pp.85～88、佐賀、平成22年5月29日
15. 依田浩敏、宮田麻衣：住宅エコリフォームに関する施主への意識調査、福岡県環境教育学会第13回年会発表要旨集、p.7、北九州、平成22年8月8日
16. 吉開大祐、依田浩敏：環境配慮型製品に対する消費者意識、福岡県環境教育学会第13回年会発表要旨集、p.8、北九州、平成22年8月8日
17. 河邊拓紀、依田浩敏：地場木材を使用した環境配慮型仮設建築物の設計、福岡県環境教育学会第13回年会発表要旨集、p.9、北九州、平成22年8月8日
18. 倉内義弘、依田浩敏：再生可能エネルギー活用設備を導入した大学キャンパス整備、福岡県環境教育学会第13回年会発表要旨集、p.10、北九州、平成22年8月8日
19. 宮田麻衣、依田浩敏：九州・山口におけるエコリフォームに関する調査研究、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.1011～1014、山口、平成22年9月2日
20. 依田浩敏、齋藤健二：反射板方式太陽光追尾型発電装置に関する調査研究（第1報）太陽光発電パネル面日射量の検討、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.1023～1026、山口、平成22年9月2日
21. 齋藤健二、依田浩敏：反射板方式太陽光追尾型発電装置に関する調査研究（第2報）発電の実績について、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.1027～1030、山口、平成22年9月2日
22. 對馬葉子、村上周三、坊垣和明、松縄堅、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、吉野博、浅野良晴、奥宮正哉、下田吉之、村川三郎、依田浩敏：非住宅建築物（民生業務部門）建築物のエネルギー消

- 費量データベース構築に関する研究 関東地域の平成21年度調査結果とエネルギー・水消費の傾向の実態調査、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.2359～2362、山口、平成22年9月3日
23. 瀬川喜章、小寺優貴、田中絵梨香、河野慎平、赤司泰義、渡邊俊行、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、依田浩敏：
非住宅(民生業務部門)建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究 九州地域における平成19～21年度調査に基づくエネルギー・水消費量分析、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.2379～2382、山口、平成22年9月3日
24. 高偉俊、赤司泰義、渡邊俊行、依田浩敏、高口洋人、葛隆生、前田昌一郎、村上周三、亀谷茂樹、吉野博、半澤久、奥宮正哉、浅野良晴、村川三郎、下田吉之：
非住宅(民生業務部門)建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究 北九州における教育施設のエネルギー消費量とCO2排出量の実態に関する研究、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.2383～2386、山口、平成22年9月3日
25. 河野慎平、赤司泰義、渡邊俊行、依田浩敏、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、吉野博、浅野良晴、奥宮正哉、下田吉之、村川三郎：
非住宅(民生業務部門)建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究 大学・研究機関とスポーツ施設におけるエネルギー・水消費の実態、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.2387～2390、山口、平成22年9月3日
26. 中村佐和子、吉野博、須藤諭、井城依真、村上周三、坊垣和明、松縄堅、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、奥宮正哉、浅野良晴、下田吉之、村川三郎、依田浩敏：
非住宅(民生業務部門)建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究 事務所建築物における調査結果(H21年度調査)(その1)調査建物概要とエネルギー消費、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.2391～2394、山口、平成22年9月3日
27. 井城依真、須藤諭、吉野博、中村佐和子、村上周三、坊垣和明、松縄堅、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、奥宮正哉、浅野良晴、下田吉之、村川三郎、依田浩敏：
非住宅(民生業務部門)建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究 事務所建築物における調査結果(H21年度調査)(その2)変動及びベースエネルギー消費の特性、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.2395～2398、山口、平成22年9月3日
28. 高口洋人、亀谷茂樹、半澤久、吉野博、浅野良晴、奥宮正哉、下田吉之、村川三郎、依田浩敏、坊垣和明、松縄堅、村上周三：
非住宅(民生業務部門)建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究 (第4報)平成21年度調査の全体概要と全国解析、空気調和・衛生工学会平成22年度学術講演会講演論文集、pp.2343～2346、山口、平成22年9月3日
29. 宮田麻衣、依田浩敏：
九州・山口におけるエコリフォームに関する調査研究、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1059～1060、富山、平成22年9月9日
30. 河邊拓紀、依田浩敏：
地場木材を使用した環境配慮型仮設建築物の設計、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1069～1070、富山、平成22年9月9日
31. 吉開大祐、依田浩敏：
環境関連技術の内部・外部価値の仮想評価スキームの開発 (その4)日本人消費者の環境配慮型製品に対する意識、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1097～1098、富山、平成22年9月10日
32. 小寺優貴、田中絵梨香、河野慎平、瀬川喜章、玄姫、赤司泰義、渡邊俊行、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、依田浩敏：
非住宅建築物の環境関連データベース構築に関する研究 その51 九州におけるエネルギー・水消費の実態について(平成21年度調査)、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1171～1172、富山、平成22年9月11日
33. 田中絵梨香、小寺優貴、河野慎平、瀬川喜章、玄姫、赤司泰義、渡邊俊行、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、依田浩敏、宮田征門：
非住宅建築物の環境関連データベース構築に関する研究 その52 九州における平成19～21年度調査に基づくエネルギー・水消費量分析、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1173～1174、富山、平成22年9月11日
34. 玄姫、高偉俊、葛隆生、赤司泰義、渡邊俊行、前田昌一郎、依田浩敏：
非住宅建築物の環境関連データベース構築に関する研究 その53 北九州市の公共施設の実態(平成21年度調査)、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1175～1176、富山、平成22年9月11日
35. 瀬川喜章、依田浩敏、赤司泰義、渡邊俊行、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎：
非住宅建築物の環境関連データベース構築に関する研究 その54 飯塚市の公共施設の実態(平成21年度調

査)、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1177～1178、富山、平成22年9月11日

36. 河野慎平、赤司泰義、渡邊俊行、依田浩敏、高偉俊、葛隆生、前田昌一郎、村上周三、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、吉野博、浅野良晴、奥宮正哉、下田吉之、村川三郎：
非住宅建築物の環境関連データベース構築に関する研究 その57 大学・研究機関におけるエネルギー・水消費量の実態、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1183～1184、富山、平成22年9月11日
37. 依田浩敏、瀬川喜章、高永志、高偉俊、葛隆生、赤司泰義、渡邊俊行、前田昌一郎、村上周三、亀谷茂樹、高口洋人、半澤久、吉野博、浅野良晴、奥宮正哉、下田吉之、村川三郎：
非住宅建築物の環境関連データベース構築に関する研究 その58 スポーツ施設におけるエネルギー・水消費量の実態、日本建築学会大会学術講演梗概集、D-1、pp.1185～1186、富山、平成22年9月11日
38. 吉開大祐、依田浩敏：
環境配慮型製品に対する消費者意識、環境科学会2010年会プログラム、p.6、平成22年9月16日

■講演

- 依田浩敏：
地球の環境・地域の環境のために、わたしたちができること、平成22年度筑豊地区商工会女性部幹部研修会（筑豊地区商工会女性部）、飯塚、平成22年4月26日
- 依田浩敏：
地球の環境・地域の環境のために、わたしたちができること、博多区環境関係連絡会議（福岡市博多区役所）、福岡、平成22年6月25日
- 依田浩敏：
環境に配慮したたてものを創る、まちを創る、オープンキャンパスミニ講義（近畿大学）、東大阪、平成22年9月26日
- 依田浩敏：
住まいの省エネ・新エネ対策（支援制度等の活用方法）、福岡県地球温暖化防止活動推進員研修会（福岡県地球温暖化防止活動推進センター）、福岡、平成22年9月27日
- 依田浩敏：
知ろう、やってみよう あなたもできる エコドライブ、エコドライブ講習会（飯塚市役所）、飯塚、平成22年10月1日
- 依田浩敏：
環境に配慮した、たてものづくり・まちづくり、公開

講座（近畿大学産業理工学部）、北九州、平成22年10月2日

- 依田浩敏：
再生可能エネルギーの利用促進について、第67回e-ZUKAトライバレー産学官交流研究会（e-ZUKAトライバレー産学官交流研究会事務局）、飯塚、平成22年10月13日
- 依田浩敏：
都市における気候変動の現状と、地域での活動のイメージ、環境保全活動リーダー講座（福岡市）、福岡、平成22年11月4日
- 依田浩敏：
添田の環境のために、わたしたちができること、親子教育講演会（添田町立中元寺小学校）、添田、平成22年11月15日
- 依田浩敏：
環境問題の解決のために・・・建設業界の役割、研修会（大石建設株式会社協力会大松会）、久留米、平成22年11月26日

工藤 卓

■設計

ガレージハウスZ4K5基本設計、糸島市、平成22年12月

■国内学会

- 羽田野 義喜、工藤 卓：
郊外型集合住宅のデザイン、日本デザイン学会第5支部、平成22年度研究発表会、pp.62～63、熊本、平成22年10月23日
- 上 征嗣、工藤 卓：
住居一体型ケアハウスのデザイン、日本デザイン学会第5支部、平成22年度研究発表会、pp.64～65、熊本、平成22年10月23日
- 石脇 聖也、工藤 卓：
住まうこと、日本デザイン学会第5支部、平成22年度研究発表会、pp.66～67、熊本、平成22年10月23日
- 加納 和真、工藤 卓：
ビオトープネットワークを用いたランドスケープデザイン、日本デザイン学会第5支部、平成22年度研究発表会、pp.68～69、熊本、平成22年10月23日
- 永野 大輔、工藤 卓：
観光立国にむけたレンタサイクルネットワークの提案、日本デザイン学会第5支部、平成22年度研究発表会、pp.70～71、熊本、平成22年10月23日
- 土佐 祐介、工藤 卓：

携帯型メディアプレイヤーを導入する高等学校のスペースデザイン、日本デザイン学会第5支部、平成22年度研究発表会、pp.72-73、熊本、平成22年10月23日

■執筆

1. 工藤 卓：
木の家の銘木を訪ねて(その4)、木材工業Vol.65、No.1、pp.44-45、平成22年1月
2. 工藤 卓：
木の家の銘木を訪ねて(その5)、木材工業Vol.65、No.2、pp.94-95、平成22年2月

■報告書

1. 工藤 卓：
第22回福岡県美しいまちづくり建築賞講評報告書、福岡県、平成22年2月
2. 工藤 卓ほか11名：
太宰府市景観まちづくり計画・太宰府市景観計画、太宰府市、平成22年12月

■講演

1. 工藤 卓：
福岡県美しいまちづくり建築賞講評、九州国立博物館、平成22年3月7日
2. 工藤 卓：
福岡県美しいまちづくり建築賞受賞シンポジウム、ソラリア西鉄ホテル、平成22年3月17日
3. 工藤 卓：
旧伊藤伝右衛門邸の銘木たち、飯塚市歴史資料館、平成22年10月16日

■審査

1. 工藤 卓：
福岡県立粕屋新光園改築工事設計業務プロポーザル選定、福岡県、平成22年7月16日

情報学科

森 正壽

■報告書

1. セン ギホウ、森 正壽：
Google EarthにおけるGoogle SketchUp3Dモデルの利用、情報処理学会第72回講演論文集Vol.72、pp.4-399-400、2010.
2. 鈴木 胤匡、森 正壽：

多重アフィン変換を用いた古地図の幾何補正、情報処理学会第72回講演論文集Vol.72、pp.2-565-566、2010.

3. 大槻 勇貴、森 正壽：
3Dスキャンモデルの圧縮率操作手法と、3DCGへの応用の考察、情報処理学会第72回講演論文集Vol.72、pp.4-289-290、2010.
4. 西尾 雅弘、森 正壽：
気象庁防災情報XMLデータのGISへの応用、日本自然災害学会学術講演会概要集(査読有)、Vol.29、pp.41-42、2010.

山崎 重一郎

■国際会議

1. Shigeichiro Yamasaki:
A Dynamic Trust Estimation Method for 'Persona' from the Human Relationship of Social Web - Social Web and Trust by the Rating of a Persona's Active Audience -, In Proceedings of The 10th Annual International Symposium on Applications and the Internet (SAINT2010), pp.300-303, 2010/7.

馬場 博巳

■紀要(かやのもり)

1. 馬場博巳：
情報学プロジェクトと飯塚市チャレンジプロジェクトとの関わり、かやのもり、Vol.13、特集-教育の現場から、(縦書き)pp.1-3、(2010/12)

勝瀬 郁代

■国内学会

1. 芝山聡美、勝瀬郁代：
聴覚障がい児のための発音練習支援ソフトウェアと単語追加インターフェースの開発と評価、第62回電気関係学会九州支部連合大会講演論文集 2P-01、2010/09
2. 勝瀬郁代：
歌声のピッチ変換機能を有するカラオケの開発、日本音響学会秋季研究発表会予稿集 2-7-6、2010/09

戒田 高康

■学術誌論文

1. Junru Zheng, Takayasu Kaida:
A note on the shift bound for cyclic codes by the DFT,

電子情報通信学会英文論文誌A, Vol.E93-A, No.11, pp. 1918-1922, (2010/11)

■講演（国際学会）

1. Takayasu Kaida, Junru Zheng:
Hamming distance correlation for q-ary constant weight codes from cyclic difference sets, Proceedings of 2010 International Symposium on Information Theory and its Applications, (CD-ROM) pp.842-845, Taichung, Taiwan (2010/10/17-20)
2. Junru Zheng, Takayasu Kaida:
An algorithm for new lower bound of minimum distance by DFT for cyclic codes, Proceedings of 2010 International Symposium on Information Theory and its Applications, (CD-ROM) pp.846-849, Taichung, Taiwan (2010/10/17-20)

■ポスター講演（国際学会）

1. Takayasu Kaida, Junru Zheng:
A set of sequences over Z_5 with period 21 including almost highest linear complexities, Proceedings of 2010 IEEE Information Theory Workshop, (CD-ROM) pp.226-228, Cairo, Egypt, (2010/01/06-08)

■講演（国内学会）

1. 戒田 高康：
殆どが最大の線形複雑度を持つ定重み周期系列の集合について、2010年暗号と情報セキュリティシンポジウム予稿集、p.243、(CD-ROM:3D3-2)、香川県高松市 (2010/01/19-22)
2. 戒田 高康：
巡回差集合より構成される大きな線形複雑度を持つ定重み符号について、電子情報通信学会 技術研究報告書 IT2009-135/ISEC2009-143/WBS2009-114、pp.409-412、長野市、(2010/03/04-05)
3. 戒田 高康、鄭 俊如：
DFT行列を用いた巡回符号の最小距離評価および復号法に関する考察、電子情報通信学会 技術研究報告書 IT2010-6、pp.31-34、徳島市、(2010/05/21)
4. Takayasu Kaida, Junru Zheng:
On constant weight sequences from cyclic difference sets、平成22年度電気学会 電子・情報・システム部門講演論文集、pp.1126-1128、熊本市、(2010/09/02-03)
5. Junru Zheng, Takayasu Kaida:
A new method for calculation of minimum distance by DFT for cyclic codes、平成22年度電気学会 電子・情報・

システム部門講演論文集、pp.1129-1131、熊本市、(2010/09/02-03)

6. 戒田 高康、鄭 俊如：
多値系列にける複素およびハミング相関特性に関する考察、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会予稿集、CD-ROM.10-2P-09、九産大 (2010/09/25-26)
7. 鄭 俊如、戒田 高康：
巡回符号における離散フーリエ変換を用いた最小距離の計算法、平成22年度電気関係学会九州支部連合大会予稿集、CD-ROM.10-2P-10、九産大 (2010/09/25-26)
8. 戒田 高康、鄭 俊如：
巡回差集合より構成される定重み符号の性質に関する考察、第33回情報理論とその応用シンポジウム予稿集、pp.312-316、長野市松代 (2010/11/30-12/03)
9. Junru Zheng, Takayasu Kaida:
Numerical experiments on proposed lower bound of minimum distance for cyclic codes、第33回情報理論とその応用シンポジウム予稿集、pp.317-320、長野市松代 (2010/11/30-12/03)

■紀要（かやのもり）

1. 戒田 高康：
国際会議および実行委員の四方山話、かやのもり、Vol.12、特集- 国際会議での思い出、(縦書き)pp.7-9、(2010/07)

高橋 圭一

■講演（国内学会）

1. 高橋圭一、基村雄作：
簡易言語を用いた産業廃棄物処理工程向け物流シミュレータの開発、スケジューリング・シンポジウム2010講演論文集、pp.151-156、2010

経営ビジネス学科

日高 健

■論文

1. 日高健：
商店街活性化に関わるまちづくり会社の機能、近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科開設記念論集、pp.107-124、2009年3月

■著書

1. 婁小波、波積真理、日高健（共編著）：
水産物ブランド化戦略の理論と実践—地域資源を価値創造するマーケティング、北斗書房、pp.47-58、pp.219-234、pp.303-312、2010年7月
2. 日高健：
世界のマグロ養殖、農林統計協会、2010年9月
3. 日高健（分担執筆）：
「里海」としての沿岸域の新たな利用（山本民次編著）、恒星社厚生閣、pp.33-49、pp.69-81、pp.119-129、2010年11月

■国内学会

1. 日高健：
地域資源管理システムとしての里海の要件、水産学会2009年度春期大会シンポジウム、東京海洋大学（東京都）、2009年3月
2. 日高健：
直接取引による水産物地域流通再編の取組み—イオンとJFしまねの取組みを中心に—、地域漁業学会第51回大会、下関水産大学校（下関市）、2009年11月
3. 日高健：
ノリ養殖漁場の賃貸借問題が提起する漁業管理の現代的課題、漁業経済学会第57回大会、東京海洋大学（東京都）、2010年5月
4. 日高健：
大手流通業と漁協との直接取引による地域流通再編の評価—島根県、石川県、山形県の比較検討—、地域漁業学会第52回大会、愛媛大学（松山市）、2010年11月

■講演

1. 日高健：
都市近郊漁村の現状と将来、(財)福岡アジア都市研究所平成22年度第1回都市セミナー、福岡市、2010年8月
2. 日高健：
水産物ブランド化戦略と地域活性化、平成22年度活力ある漁村づくり促進事業中間報告会および地域リーダー育成研修会、館山市、2010年12月

■執筆

1. 婁小波、日高健：
イオンとJFしまねの直接取引が問いかけるもの、漁協と経営、漁協経営センター、pp.57-60、2009年6月
2. 日高健：
地域流通再編の取組み—JFしまねを事例に—、ていち、日本定置漁業協会、pp.25-37、2009年8月

3. 日高健：
イオンと漁業者の「直接取引」に学ぶ 鮮魚流通のあり方、水産経済新聞、2009年6月
4. 日高健：
転機を迎えるマグロ養殖、養殖、緑書房、pp.24-26、2010年4月

岡田 幾太郎

■国内学会

1. 岡田幾太郎、X. F. Zhang、H. Y. Yang、藤村茂：
A GA Approach with Critical Path Based Local Search for Resource Constrained Project Scheduling Problem with Multiple Modes、平成22年度日本設備管理学会秋季研究発表学会論文、pp.60-65、金沢大学、平成22年10月28日

■国際会議

1. I.Okada, X. F. Zhang, H. Y. Yang and S. Fujimura:
A Random Key-based Genetic Algorithm Approach for Resource-constrained Project Scheduling Problem with Multiple Modes, Proceedings of the International MultiConference of Engineers and Computer Scientists 2010 IMECS 2010, Vol. 1, pp.106-111, Hong Kong, China, March 17-19, 2010
2. Ikutaro Okada, Xiao Fu Zhang, Hong Yu Yang and Shigeru Fujimura:
Genetic Algorithm with Critical Path Improvement for Solving Resource-constrained Project Scheduling Problem with Multiple Modes, 2010 International Conference on Information Security and Artificial Intelligence ISAI 2010, Vol. 1, pp.286-291, Chengdu, China, December 17-19, 2010

黒田 次郎

■著書（分担執筆、編集幹事）

1. 黒田次郎、他：
スポーツビジネスの動向とカラクリがよーくわかる本、第1章「プロスポーツビジネスと各競技団体の特徴」pp.10-40、第2章「スポーツに関わる仕事」pp.42-64、第6章「スポーツ選手のセカンドキャリア問題」pp.140-154、株式会社秀和システム、2010年5月

■国内学会

1. 黒田次郎、平本譲、高橋流星：
スポーツ選手の社会貢献活動、第17回日本運動・スポーツ科学学会、2010年6月
2. 黒田次郎：
プロスポーツ選手の社会貢献活動ーアメリカMLBのロベルト・クレメントアワードの検証からー、日本運動・スポーツ科学学会 国際健康・スポーツ分科会第8回大会、2010年8月

■講演

1. 黒田次郎：
クラブのリスクマネジメント・危機管理、平成22年度第1回クラブマネージャーフォローアップセミナー、福島県、2010年6月12日
2. 黒田次郎：
指導者としてのリスクマネジメント・野球競技の国際的動向、H22日本体育協会公認コーチ養成講習会軟式野球専門科目講習会、静岡県、2010年11月6日

■その他

1. 黒田次郎：
[研究室だより] スポーツマネジメント研究室、近畿大学産業理工学部紀要「かやのもり」12号、pp.13-14、2010年7月

中牟田 智朗

■論文

1. 中牟田智朗：
祝儀等の税法上の課税関係について、日本産業経済学会産業経済研究、2010年3月
2. 中牟田智朗：
保証債務を履行するための資産の譲渡に関する所得税法上の特例について、近畿大学産業理工学部研究報告13、pp.49-62、2010年12月

■講演

1. 中牟田智朗：
アパート経営と相続税法、九州・オール電化賃貸集合住宅をすすめる会特別セミナー、九州電力主催、福岡市、2010年5月

平成22年度卒業研究一覧

生物環境化学科

■西山 丈夫 | 有機合成化学研究室

浦中 寛彬

2'-ヒドロキシカルコン類を経由したイソフラボンの合成

先中 秀年

MWIによる共役ニトロアルケンの合成

佐藤 祐太郎

Wittig-Horner反応を経由したナフトール類の合成

芹生 達矢

グリンド酸エステルの合成とその後続反応による2-アリアルアルデヒド類の合成

中尾 明

デオキシベンゾインを経由したイソフラボンの合成

原田 康平

抗酸化成分の抗酸化能について

—食品中の抗酸化成分—

藤田 浩行

アリアルアセトアルデヒド類の合成と反応

宮村 常大

アリアルメチレンコハク酸モノエステルの迅速合成と閉環芳香族化反応

■飯山 悟 | 生物化学研究室

小村 恵理

エタノールに対する味センサ応答の解析

河淵 あずさ

親水性物質の苦味呈味機構の解明

坂口 旦

味センサへのイオン液体膜の利用

福田 佳奈子

食品あるいは食品成分による苦味マスキングの研究

藤島 広平

油脂やとろみによる食味向上の味センサ評価

松本 卓

食品成分等によるDNAならびにRNAの切断

丸山 強志

食品の酸化性および抗酸化性に関する研究

山根 寛之

ハイブリッド・レシピ ; 味の創出

■荒川 剛 | 無機材料化学研究室

和泉 雄太

簡易型キドセンサの試作と試料キッドの作成

上田 大允

アミノ酸およびタンパク質のテラヘルツ分光

岡本 良太

Pd複合粒子の調製と水素吸着特性

河村 駿

薬物のテラヘルツ分光

塩谷 翔

希土類元素イオン交換体へのタンパク質の吸着

鳥越 英明

可燃性液体のテラヘルツ分光

堀 勝年

無機・有機複合膜を用いた表面プラズモンセンサによる揮発性有機化合物の検出

藪崎 昭雄

農薬類のテラヘルツ分光

■西田 哲明 | 環境材料化学研究室

岡村 卓磨

コウジ酸の位置選択的反応の開発と高分子合成への応用

坂本 知世

高分子ゲルを用いたニッケルイオンの吸着
～吸着能の限界を求めて～

高倉 裕貴

導電性バナジン酸塩ガラスの改良

永田 慶一

新規セラミック多孔質体の創製と水質浄化

野下 孝太

高分子ゲルを用いたニッケルイオンの吸着
～表面積と吸着速度の相関～

古本 功

耐水性に優れた導電ガラスの開発

松井 健太郎

新規セラミック多孔質体を用いた水質浄化

鷲田 照明

新規導電性ガラスの材料設計

■河津 博文 | 分析化学研究室

大田 洋希

ラマン散乱分光法により識別された廃プラスチックの品質

大山 麗華

ラマン散乱分光法をコア技術とする廃プラスチック識

別システムの特性

小田 健次

レーザ励起法による新規廃プラスチック識別法の開発

小林 美子

Reversible Addition-Fragmentation Chain Transfer (RAFT)重合法による両末端に水酸基をもつ高分子の精密合成

田中 駿輝

河川水有機汚濁指標へのTOC測定適用の可能性
—遠賀川水系金辺川を対象として

橋詰 倫恵

ポリオール法によるAg@Niコアシェルナノ微粒子の合成

橋本 彬彦

マイクロチップ電気泳動を用いるDNA複合体会合ダイナミックスの研究(2)

森 紘一

遠賀川水系金辺川における汚濁物質負荷量の測定

■藤井 政幸 | 生物有機化学研究室

片岡 翔太

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — *Penicillium camemberti*由来「リパーゼGアマノ50」によるクリーベッジ法の開発

西條 清伸

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — *Penicillium roqueforti*由来「リパーゼRアマノ」によるクリーベッジ法の開発

芝田 将行

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — 「リパーゼMアマノ10」によるクリーベッジ法の開発

寺田 佳毅

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — 「リパーゼPSアマノSD」によるクリーベッジ法の開発

利光 貴紀

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — 「リパーゼアマノ」によるクリーベッジ法の開発

中野 健一

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — 「リパーゼAYSアマノ」によるクリーベッジ法の開発

松本 一真

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — 「リパーゼASアマノ」によるクリーベッジ法の開発

三浦 航

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — 「リパーゼAKアマノ」によるクリーベッジ法の開発

戸坂 孝繁

酵素的固相ペプチド合成法の開発 — *Aspergillus niger*由来「リパーゼAアマノ6」によるクリーベッジ法の開発

■田中 賢二 | 応用生物工学研究室

天井 友仁

海産餌料動物プランクトンの光照射培養における光量と波長の影響に関する研究

伊知地聖美

塩素酸還元菌の基質利用性に関する研究

香川 裕輝

餌料動物プランクトン培養系のビタミンB12合成にLED光照射が及ぼす影響に関する研究

島 絵里奈

耐酸性乳酸菌の流加培養による乳酸生産の効率化に関する研究

瀧口 若葉

LED光照射下の餌料動物プランクトン培養系における菌相解析

田中 諒

CO₂から有用物質を生産するParacoccus属の探索

中尾 勇太

水素酸化細菌の独立栄養培養における高性能攪拌装置の導入とその効果に関する研究

中田 麻裕

テラヘルツ分光法の微生物生産物分析への利用に関する研究

山口あかね

水素酸化細菌遺伝子組換え株の菌体増殖とPHB合成に培地窒素源が及ぼす影響に関する研究

山脇 春菜

耐酸性乳酸菌の増殖促進因子の探索に関する研究

■菅野 憲一 | 生態高分子工学研究室

足立 裕樹

高分子CT錯体の合成と応用

網本 那美

色素増感電池のためのフィルム材料の開発

金田 雪江

色素増感太陽電池のためのゲルの開発

川崎 悠司

UNEP「世界の侵略的外来種ワースト100」指定生物ワカメの科学的利用

慎 法泰

多糖含有漂流性生物ノリの科学的利用

高野 良太

バイオ電池用アノードの開発

津田 敬太

高分子CT錯体の合成と性質

矢野 大樹

侵略的在来種アオサの科学的利用

平川 陸

多糖資源の有効利用方法と環境教育への活用

■森田 資隆 | 環境生物化学研究室

今泉 拓也

低温性ケラチン分解菌KH-2株が産生するケラチナーゼの酵素特性

牛島 慶子

リパーゼ産生菌OW-e株の増殖特性に関する研究

北島 裕章

KIG-4株が産生するジスルフィドレダクターゼの粗酵素特性

木村 文哉

低温性リパーゼ産生菌の探索と粗酵素特性

隈本 崇史

ケラチン分解菌KTI-4株の増殖に関する研究

田上 健太

低温性鉄還元菌の低温適応と特性評価

中野 雄貴

鉄還元菌による金属還元能に関する研究

米本 智朗

リパーゼ産生菌が産生する粗酵素の界面活性剤による影響

電気通信工学科

■原谷 直実 | システム工学研究室

小谷 侑久

反射板方式独立型ポールタイプ太陽光発電装置

野村 力也

反射板方式独立型ポールタイプ太陽光発電装置

假屋 仁志

ソーラーセルの特性に関する研究

高倉 陵

ソーラーセルの特性に関する研究

田中 諒

ソーラーセルの特性に関する研究

■五反田 博 | 情報通信研究室

倉原 優

組み込みコンピュータによるモータ制御系の構築

柴山 隼

SimulinkによるOFDMシステムの信号生成シミュレータの作成

■江崎 秀 | バイオエレクトロニクス研究室

堤 裕介

LabVIEWを用いたマルチチャネルセンサシステムの開発

中村 剛久

脂質膜を用いたアルコールセンサ

和田 泰起

センサによる浄化槽の簡易故障解析

中島 創

太陽電池を利用したエコ技術教育

高岡 知司

専門誌を導入した技術者教育

■園田 敏勝 | 電子応用計測研究室

荒金 雅典

真空管電力増幅用変圧器の線形性

木村 哲也

音響用マイクロホンの構造と動作

土居 憲旦

波動スピーカの動作と音響システム

畠山 茂

DCブラシレスモータの速度制御法

吉川 知輝

可変リアクトルを用いた自励式誘導発電機の電圧制御

■伊集院 八郎 | 半導体光電子応用研究室

河村 恵太

電験資格取得のためのWEBアプリケーション開発

秋山 直哉

Excelシミュレーションプログラミングに関する研究

城 歩

表計算ソフトにおける数式の処理

北村 昌之

マイコン間通信手法に関する研究

■白土 浩 | 知能情報システム研究室

西尾 猛

フレームワークによる総合達成度評価システムの再構築

山田 純平

フレームワークによる総合達成度評価システムの再構築

岡島 大輔

全方向移動ロボットの開発

■松崎 隆哲 | 知能処理アーキテクチャ研究室

市山 尚樹

お菓子すくいロボットの動作機能改善に関する検討

内藤 侑介

お菓子すくいロボットの入力インターフェースに関する検討

山下 謙一

miniHOT君における障害物回避機能に関する検討

吉川 英樹

並列実行環境におけるCellプロセッサの評価

■角藤 亮 | 素粒子論研究室

徳永 昂也

2次元の静電界と複素関数論

山口 佑介

2次元の静電界と複素関数論

渡辺 隆一

一様な磁界のなかでの荷電粒子の運動

■中野 吉正 | 量子物性論研究室

横田 圭也

鏡像法の改良とその応用

藤吉 昭光

鏡像法の改良とその応用

■豊田 文彦 | 素粒子物理学研究室

瀬川 諒

アインシュタイン宇宙と重力場方程式

園田 高文

膨張宇宙と重力場方程式

岡崎 章正

重力場方程式とブラックホール

建築・デザイン学科

【建築構造・建築生産】

■平松 晃 | 地震工学研究室

大音 陽平

PC鋼棒筋違による既存RC造ピロティ建築物の耐震補強方法の開発

亀山 歩美

PC鋼棒筋違で耐震補強された既存RC架構の破壊性状と復元力特性

荒井 栄介

繰返しの鉛直荷重と水平荷重を受けるRC門型架構の復元力特性と破壊性状

佐々木 公一

繰返しの鉛直荷重と水平荷重を受けるRC門型架構の梁の鉛直変位と破壊性状

森川 晴一郎

鉛直荷重の載荷速度がRC門型架構の復元力特性に及ぼす影響に関する実験的研究

李 帝衡

新型筋違付き鋼製架構の復元力特性

井上 新

新型筋違の耐震性能に関する実験的研究

草場 泰洋

新型引張り筋違の復元力特性を用いた建築物の強震応答性状

豊田 昌彦

鉛直地動に対する建築構造模型の基本応答性状

■河上 嘉人 | 建築施工研究室

平塚 敦士

再生骨材コンクリートに関する一実験

その1. 再生骨材コンクリートのワーカビリティについて

厚田 享平

再生骨材コンクリートに関する一実験

その2. 強度性状について

樋口 良介

再生骨材コンクリートに関する一実験

その3. 再生骨材Lと普通骨材の混合使用について

木本 舞来

再生骨材を使用したポーラスコンクリートに関する一実験 その1. 再生骨材H

齋藤 裕之

再生骨材を使用したポーラスコンクリートに関する一実験 その2. 再生骨材M

平田 雄基

再生骨材を使用したポーラスコンクリートに関する一
実験 その3. 再生骨材L

渡邊 拓喜

再生骨材を使用したポーラスコンクリートに関する一
実験 その4. ポーラスコンクリート再生骨材L
繊維補強

平田 翔太

コンクリート強度の積算温度方式に関する研究
その1. 初期養生時間の影響

原 健二

コンクリート強度の積算温度方式に関する研究
その2. 供試体温度の影響について

鯨 真生

コンクリート強度の積算温度方式に関する研究
その3. 気中養生の場合

嶋田 菜央

コンクリート強度の積算温度方式に関する研究
その4. 強度推定式について

重田 純平

細骨材の含水率がモルタルのフロー値に及ぼす影響に
ついて

【建築環境・建築計画】

■依田 浩敏 | 建築都市環境工学研究室

川口 貴嗣

地場木材による遊戯用建造物の設計・製作及び調査

富山 美登

福岡県における地場産材の地域循環に関する調査・研
究

伯川 貴晴

地方都市の市街地における土地利用実態と生活利便性
に関する研究

寺田 麻美

高齢者の視点から見た商店街の活性化に関する調査研
究

宮上 絵理

天神地区におけるヒートアイランド対策のための建物
排熱マップの作成

田村 剛士

九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量
データベース構築に関する追加調査

飛鳥 由輝一

スポーツ施設におけるエネルギー消費量データベース
構築に関する研究

小見山 優輝

高齢者福祉施設における温熱環境の実測調査研究

山口 裕子

室内環境の快適性を考慮したバリアフリー住宅につい
ての調査研究

山根 昭平

乾燥地域における太陽光発電システムに関する研究

松本 卓士

反射板方式太陽光発電システムに関する実験的検討

■齋藤 健二 | 建築設備研究室

早島 弘貴

太陽光発電パネルの運転実績データの収集

その1. 追尾式太陽光発電パネルの連続したデータの
収集

坂上 剛史

太陽光発電パネルの運転実績データの収集

その2. 追尾式と固定式の実績データの比較

田中 渉

太陽光発電パネルの運転実績データの収集

その3. パネル表面温度と電力変換効率について

廣瀬 智昭

断熱塗料の効果についての基礎的な実験

その1. 種々の箱材についての測定

富永 隆太郎

断熱塗料の効果についての基礎的な実験

その2. 測定したデータの分析と比較

津村 勇翔

LED照明と従来型照明の比較 その1. 照度の測定

友利 直達

LED照明と従来型照明の比較 その2. 発熱量の推定

初井 俊保

建築設備に関する竣工データの分析と活用について

横田 誠

家庭用新エネルギーの調査

宮里 由貴

産業理工学部の空気環境の調査

■岡田 威海 | 建築デザイン研究室

元吉 康晴

複合建築のデザイン研究

博多駅バスセンターの場合の考察

山本 清雅

コミュニティ施設のデザイン研究

大阪市西区の場合の考察

■益田 信也 | 建築計画研究室

鬼木 健

わが国の子育て支援の施策体系とその空間整備上の課題について

柴田 祥吾

子育て支援関連施設の整備状況の変化とこれからの整備課題について

富永 啓介

子育て世帯の拠点施設利用パターンと地域における支援拠点の役割について

茂村 卓志

筑豊地域の近年の住宅事情について
平成20年住宅・土地統計調査の分析を通じて

吉富 達也

生活関連施設を利用している高齢者の街なか行動について

【建築設計】

■岡田 威海 | 建築デザイン研究室

岡本 健史郎

THE OCEAN PANORAMA
- 下関を海洋研究の拠点に-

河野 怜平

水の回廊
- うちぬき広場による西条市の活性化-

澤中 信人

コミュニティユニット
- 海辺の住環境の形成-

清水 健哉

日出のすまい
- 建築を染める-

達川 直樹

住環境の国際化
- 外国人居住者の文化交流の場-

玉井 成乙希

子供と自然のふれあい
- 島の体験学習施設-

吉田 国平

トランスプログラミング
- 防府中心市街地の活性化-

■益田 信也 | 建築計画研究室

山口 和也

あるく、のぞく、みつける。
- 筑豊香春岳運動緑地再生計画-

塩川 甲太

つつむ、ひらく
- 下関駅舎および周辺再開発計画-

■工藤 卓 | 環境デザイン研究室

上杉 祐介

快適老後住宅

大塚 候平

人と町を繋ぐ旅泊施設

鈴木 理恵

福祉専門学校と共生する集合住宅
- 佐世保の傾斜地で寄り添って暮らす-

武藤 浩平

駅のホームにつくるアパレル店舗設計

■川上 秀人 | 造形史研究室

高野 寿人

篠栗遍路再生
- 空歩き-

【デザイン制作・論文】

■工藤 卓 | 環境デザイン研究室

河野 公輔

組立竹茶室のデザイン

松村 絵里香

コミュニティライブラリー
- 大名につくる情報共有空間の提案-

■川上 秀人 | 造形史研究室

奥藤 あゆ美

美術館としての余白

■金子 哲大 | 空間デザイン研究室

赤見 亮

集う駅

武貞 佐知香

カワイイ、ツクル。

藤間 祥平

ころも

丸中 美奈

たべるほん

■松本 誠一 | 家具デザイン研究室

藤木 淳

家具が部屋を作る

上野 裕志

植物と共存するテーブルと対になるイスの制作

江頭 拓

収納テーブル

片山 葉子

utatane

角谷 佑輔

サイドテーブル -softness-

猿木 結子

branco

二野宮 次郎

レッド&ブルーのレプリカと対になるサイドテーブルの制作

林 直城

GE290のレプリカと対になるサイドテーブルの制作

■楠林 拓 | プロダクトデザイン研究室

中川 裕介

観光資源としてのJR四国列車のカラーリング計画

篠原 厚一

木を通して音色を変えるエレキギターの制作

北川 龍之助

モノコックフレームのストリートライド用バイクの制作

小川 由香

子供の楽しいを育むフレキシブルソファの制作

■鶴野 幸子 | コンピュータ・グラフィクス研究室

古市 聡洋

CMYKアート

木原 拓朗

クリーニング店を媒体とした販促システムの提案とクーポンのデザイン

小林 起也

ステンシルを使ったエコバックの制作

後藤 弘憲

仄見える - 非日常ミステリ小説-

清水 綾乃

森のレストラン - 親子のためのレシピ絵本-

庄田 美穂

再生コレクション

田中 浩貴

環境音によるサウンドアート

井川 大樹

今日は何の日 - 記念日紹介ポスターの制作-

和木 将憲

MateR(e)AL

- 光と影のインスタレーション-

情報学科

■長田 一興 | 言語処理工学研究室

北村 涼

GoogleAppEngineとAndroidを利用した名刺システムの開発閲覧および作成機能

西本 契斗

レシピ検索栄養管理Webアプリケーション

早野 昌明

GoogleAppEngineとAndroidを利用した名刺システムの開発

保智 博之

出欠管理システムの開発

松永 賢二

電子書籍リーダーの開発

三代 和樹

ライフログ機能付きTwitterクライアントの作成

湯浅 集

成績管理システムの開発

東野 龍

授業アドバイスシステムの作成

~先輩から後輩への言葉~

■藤原 英徳 | 調和開発研究室

滝谷 国彦

日産生産方式

堀田 康史

日産生産方式

■森 正壽 | 画像処理研究室

山崎 和希

3Dスキャナによる足型の形状解析

七川 裕太

3DCGによるオリジナル菓子デザインの制作

繁松 和貴

3Dスキャナによる靴底の摩耗変化と形状解析

田坂 祐樹

画像相関によるGoogle Earth画像の位置補正

中村 優介

3DCGによる拍動のアニメーション表示

門脇 慎

CGによる煤煙の拡散シミュレーション

■金光 滋 | 情報総合学研究室

戸田 良平

リサイクル バイオスフィアへのアプローチ

大久保 亮丞

Effective use of processed blast-furnace slag as fine aggregate for premixed dry mortar

北代 哲也

Strategic management: Mediterranean veal rice-ball with alkali mineral hard water

熊本 敦

中国におけるゼロエミッション・持続可能工業団地コンプレックスの設計

阮 浩波

Elements of group theory

■塚田 春雄 | 数理科学研究室

甲斐 裕亮

六角リバーシ・定石の検索

酒井 浩幸

新ゲームの開発

白川 宏治

新ゲームの開発

高橋 浩之

六角リバーシ: 確定石&パラメーター

橋内 大輔

新ゲームの開発

舛田 隆文

星形六角リバーシの開発

三宅 寛之

37六角リバーシの最適パラメーター・定石の検索

■山崎 重一郎 | インターネット研究室

青木 辰憲

Twitterにおけるアクティブユーザ間の情報発信行動の類似度について

■大木 優 | 情報システム研究室

浜崎 翔太

QRコードを使ったアレルギー情報作成・提供システムの開発

緒方 昂

EPCタグを使用した食品管理システムの開発

重村 諭央

車体カラー認識による車両追跡システムの研究

下條 正和

QRコードを使った試験解答配布方式に関する研究

田原 恭兵

エキスパートシステムを使った献立生成システムの開発

野見山 正誉

基本情報技術者試験向け計算問題生成システムの開発

向山 淳一

仮想旅行システムにおける音声会話システムの開発

山本 健太

仮想旅行ロボットにおける統合制御システムの開発

吉竹 直

仮想旅行システムにおけるロボット識別システムの開発

■馬場 博巳 | インテリジェントシステム研究室

齊藤 貴文

人工無能開発における実験環境の構築

鈴木 亮教

Android携帯電話における撮影支援アプリケーションの開発

鈴木 修平

人工無能用音声認識環境の開発

谷本 光太郎

SkypeAPIによる人工無能のためのインターフェース開発

山際 寛人

Java 3Dを利用した売り場設計支援システム

山下 聡

Twitter4Jによる人工無能のTwitterへの接続

關屋 尚樹

フリーソフトを使ったリップシンクの実験

■勝瀬 郁代 | マルチメディア研究室

橋本 三加子

3次元グラフィックキャラクターからのサイズ抽出

山口 武志

キャラクターのサイズ変化に対応した音声変換

山田 ちから

怒りや悲しみの感情音声の特徴と感情変換

■戒田 高康 | 情報通信研究室

京和 征宏

JSPによる簿記検定問題の作成

平口 卓也

無線LANのセキュリティおよび安全性

吉田 龍征

2次元コードとホームページ作成に関する研究

山田 啓司
コンピューターウイルスの種類と対策に関する視覚的表現

■高橋 圭一 | ソフトウェア研究室

柿本 綾華
自炊生活応援サービスの開発

木下 真美耶
モーフィングを用いたごみ箱の擬人化に関する研究

巖本 真義
西鉄バスのリアルタイム時刻表システムの開発

中谷 亮太
ボロノイ図を用いたシューティングゲームにおける回避ルートのガイド表示

二宮 慎太郎
認知症確認テストのウェブアプリケーションの開発

藤本 みなみ
ファッションコーディネート支援アプリケーションの開発

星野 憲章
iPadを用いた老眼者のための新聞ビューワ

的野 慎也
簡易設置型販売状況管理システムの開発

本村 翔吾
Android端末の三軸加速度センサーを用いた簡単Twitterフォローアプリ

経営ビジネス学科

■飯島 高雄 | 金融システム研究室

上田 嵩幸
高速道路改革の検証

小西 雄貴
ゆうちょ限度額引き上げによる地域金融機関への影響

篠原 健
菅首相の政策で景気は回復するのか

西田 光佑
サークル活動におけるリーダーシップ

姫木 寛成
銀行破綻処理制度の課題と改善点

山下 悠介
NBAの球団経営について～新労使協定とロックアウト

■大谷 真忠 | 経営管理研究室

今西 隆蔵

モチベーションの理論と管理技術

大関 一平
組織における誘因の方法

坂梨 光
ワーク・ライフ・バランスと企業経営

藤堂 諭志
リーダーシップ論の展開

野口 和明
CSRと環境問題

眞鍋 貴史
B級グルメと地域おこし

金子 雅史
CSRと働きやすい職場づくり

小西 一明
BMWと高級車志向経営

■河 知延 | 経営戦略研究室

森本 章義
ルイ・ヴィトンの日本進出の成功と課題

原 尚也
即席めん業界の企業間競争と日清食品の課題

戸田 竜也
自律型組織を作る人材マネジメント - スターバックスを事例に-

釜坂 健太
コンビニエンスストア各社の経営戦略について

保坂 ゆみゑ
ファストファッションとセレクトショップの変容と課題～ZARAとユナイテッドアローズを用いて

佐藤 史崇
協同組織金融機関の存在意義

石岡 遼
日本のビール業界の課題～キリンビールを中心に

小野 祥人
デファクト・スタンダードとソニーの経営戦略

■永原 丞 | 社会政策研究室

酒井 剛史、川野 正博
結びつくパチンコとアニメーション

瀬高 史織
アパレル業界におけるマーケティングの変化～ユニクロとしまむらを中心として

池信 進、西川 政文、松田 雄輝
日本における子供手当 (2010年度法案) の問題点について

須股 小百合

日本女性労働の現状と社会～女性の社会的な向上に向けて

高田 恭平

名ばかり管理職～マクドナルド判決以降の企業・政府の動き

■日高 健 | 地域ビジネス研究室

鬼塚 徹治

飯塚市本町商店街におけるコミュニティ・レストランのビジネスプラン

仲江 達也

ホームセンター・ナフコによる多店舗展開戦略の特徴と課題

山本 大成

ガソリンスタンド経営の現状とビジネスシステム

笠 佑輝

MrMaxが持つビジネスシステムの有効性と課題

高松 啓太

八木山バイパス無料化が地域づくりに与えた影響

永露 崇

JR九州の全社戦略におけるツーリズム事業の位置づけ

井上 寛之

まちづくりにおけるオンパク方式の有効性と限界～宮崎県延岡市のえんぱくを事例に

関 麻衣亜

犬を対象としたペットショップ経営の多様化

岩崎 将士

NPOの収入と収益性

■中牟田 智朗 | 会計情報システム研究室

向井 一宏

日本の水産業の現状と課題

齋藤 幸法

飛躍を遂げるゆめタウン

小野 雄司

地方銀行の生成と発展

伊東 達也、森 寛弥

外航海運と物流

栈敷 万希子、宮本 恵夢

国際会計基準 (IFRS) について

堤 友美、中間 江梨香

化粧品業界の変遷と資生堂の戦略

■平川 茂 | 財務会計研究室

公木 陽輔

北九州市の財務分析

酒巻 巧

近畿大学産業理工学部のバリアフリー設備の問題と改善

比嘉 昌也

東京ディズニーランドにおける従業員 (キャスト) 教育の研究

吉田 和弥

業務用冷凍・冷蔵庫の業界分析

藤中 奨

ワタミフードサービスに見る経営戦略

■長谷川 徹也 | 産業人間工学研究室

西川 大軌、柳瀬 和寛

飯塚地区の交通システムに対する提言～内住・桑曲地区を例として

副島 建太

ギター演奏初心者における演奏のしやすさに関する要因について

井上 勝仁、長町 潤貴、藤本 陵

半導体工場を対象とした人間工学チェックリストの活用

■槇塚 忠穂 | 環境計画研究室

澤本 龍太、中村 優、萩村 新、福田 泰之

輪積み成形による寸胴甕製作技術の初期習熟過程

橋本 孝則、田中 義和

国際学力調査とマスメディア

野見山 昌文、星野 卓也

家庭のしつけと子供

土井 智生、増野 晃太

情報社会が及ぼす子供への影響

■大箸 純也 | 生活人間工学研究室

植村 尚徳、大里 武彦、重吉 啓幸

諸藤浩之さんが描く葦ペン画のデータベース作成

永井 梓

学生生活の楽しみとはなにか

■橋本 浩 | 健康科学研究室

室井 優太、山本 崇之

フットサルの現状について

福本 純也

欧州のサッカービジネスから見た成功と課題

桑村 健一、島田 龍巳、吉松 孝洋

ユニクロの誕生と経営戦略について

■黒田 次郎 | スポーツマネジメント研究室

廣瀬 拓哉

オリンピックの経済効果

■岡田 幾太郎 | 経営数理研究室

中尾 匠吾、齋藤 拓也

コンビニ・7-11 : POSシステムと電子商取引によるコンビニ戦略の考察

■橋富 博喜 | 美学美術史研究室

奥野 賢治

MIZUNOの野球グラブの歴史

押谷 優助

価格破壊の時代

清水 文哉

倉敷美観地区について

田村 俊貴

齋藤秋圃の画歴と作品

中嶋 大作

わが国における「いじめ」－現状と対策－

中夜 剛

浄土寺阿弥陀三尊像について

深田 良介

自動車タイヤのデザイン－性能と歴史－

頼金 真吾

飲酒運転の危険性

三好 涼子

旧伊藤伝右衛門邸の美術作品

左近充 聖翔

経済と犯罪の関係について

■青井 格 | 国際言語文化研究室

門田 剛典

キング牧師と公民権運動について

高瀬 育久

麻薬の歴史と危険性について

西田 教倫

ベルリンの壁、崩壊の経緯

■ビル ベロウ | 英語コミュニケーション研究室

小出 奨

ヒップホップミュージック文化研究

佐渡山 智毅

日本語ラップ文化研究

林 詩織

海外から見た日本住宅

■海 沢洲 | アジア経済研究室

遠矢 裕翔

日・中・韓のキムチによる経済関係

中沼 歩

スポーツ用品業界の現状と今後

安浪 由浩

中国自動車市場の実態と今後の展望

井上 和大

最近のプロ野球における経営変化

■橋本 修治 | アジアビジネス研究室

川辺 脩平

日本のスーパー市場の非寡占～日米のスーパー比較

■河村 正彦 | 比較教育文化研究室

前城 崇充

デンマークから学ぶユーザー・デモクラシーと日本

前田 晃典

モンテッソーリの幼児教育理論

平成22年度産業技術研究科学位論文一覧

■物質工学専攻博士前期課程修了

木村 美華 (材料化学特論)

エポキシドの新規熱潜在性アニオン重合開始剤の開発と硬化系への応用

小西 優也 (材料化学特論)

希土類元素-SDBS-タンパク質系の蛍光特性

小松 久矩 (生物化学特論)

動物性初期餌料生物に対するLED光の増殖促進効果に関する研究

齊藤 真広 (環境科学特論)

高分子ゲルを用いた新規水質浄化材の開発と評価

柴田 尚晃 (材料化学特論)

酸化物/有機複合膜を有する表面プラズモンセンサによるシトクロムCの検出

曾我部翔太 (材料化学特論)

(メタ)アクリラートモノマー類を用いるイオン液体を含有するネットワークポリマーの合成と導電性

竹尾 雅彦 (環境科学特論)

高分子ゲルの鉄イオン吸着特性

竹入 裕 (生物化学特論)

新規鉄還元菌の探索と還元特性に関する研究

但馬 慧介 (材料化学特論)

化学センサ材料としての希土類元素複合酸化物のテラヘルツ分光

土田 哲大 (環境科学特論)

リサイクルのためのラマン散乱による廃プラスチック識別法の開発

檜谷 孝 (生物化学特論)

低温活性リパーゼの特性評価と洗剤添加剤への応用

平田 舞 (生物化学特論)

Paracoccus denitrificans の独立栄養条件下での培養特性とCO₂からの生産物生成に関する研究

船川 誠矢 (生物化学特論)

新規に分離したグラム陰性細菌によるリグノセルロースバイオマスの利用可能性に関する研究

前田 真也 (材料化学特論)

二官能性チオフェンの気相重合によるネットワークポリチオフェンの合成

松本 泰昌 (資源化学特論)

生体分子応答性新規デバイスの開発

水之江庄士郎 (生物化学特論)

ケラチン分解菌が産生する低温活性酵素の特性評価

宮田 高浩 (環境科学特論)

五員環環状カーボナートおよびジチオカーボナート構造を有するスチレン系モノマーの合成と重合挙動

■電子情報工学専攻博士前期課程修了

宗貞 辰徳 (応用電子工学特論)

インバータ電源を用いた溶接電流の制御

唐原 宏行 (応用電子工学特論)

DCブラシレスモータの速度制御法に関する研究

安村 祐輝 (応用電子工学特論)

磁束制御形可変リアクトルを用いた自励式誘導発電機の電圧制御

■電子情報工学専攻博士後期課程修了

山光 史哲 (応用電子工学特殊研究)

磁束制御形可変リアクトルの構成法とその応用に関する研究

■電子情報工学専攻博士論文

王 念良 (応用整数論特殊研究)

Fourier analysis in number theory

原田 克彦 (生体情報工学特殊研究)

EDLCを適用した単相正弦波複合PWM電圧形インバータによる系統連系太陽光発電システムに関する研究

■造形学専攻博士前期課程修了

大戸 泰輔 (造形史持論)

遊べる家具の制作

釘宮 未穂 (造形史持論)

コミュニケーションギャップをテーマにしたオムニバス映像制作

角 大輔 (造形計画持論)

且過市場再生計画

村戸 達 (造形計画持論)

奈良の家 - 場所のリアリティから浮かび上がる建築のデザイナー

宮本 裕一 (造形計画持論)

空間デザインにおけるイベント創造の可能性について

- 花博記念公園鶴見緑地駐車場活用計画-

瀬川 喜章 (環境計画持論)

飯塚市における中心市街地活用の可能性に関する研究

－ 農業を核とした高齢者施設の設計－

宮田 麻衣 (環境計画持論)

環境やバリアフリーに配慮した高齢者向け住宅に関する研究及び設計

吉開 大祐 (環境計画持論)

環境関連技術における内部・外部価値の仮想評価スキームの開発

山田 浩司 (造形史持論)

紙のイス - 構造と素材の結びつき-

羽田野 義喜 (造形計画持論)

郊外型集合住宅のデザイン

－ 篠栗町における集落の持続・再生－

永野 大輔 (造形計画持論)

観光立国にむけたイーजीツーリズムの提案

－ レンタサイクルシステムと観光ツールのトータルデザイン－

土佐 祐介 (造形計画持論)

タブレット型多機能端末を利用する高等学校のスペースデザイン

■経営工学専攻博士前期課程修了

長谷 康史 (情報システム特論)

SQL演習問題の自動生成に関する研究

松本 裕平 (経営システム特論)

法人税法における役員給与規定の検討

山口 真衣 (人間科学特論)

学生のコンピューターの使用実態とその人間工学的問題点

川上 清香 (情報システム特論)

Webアプリケーション上の利用者中心型認証に基づいた個人情報の安全な流通手段の提案

西尾 雅弘 (数理システム特論)

気象庁防災情報XMLデータの自治体防災への応用

松尾 雅俊 (情報システム特論)

可用性を維持したスケールダウンが可能なクラウドコンピューティングのための動的デプロイ技術の提案